

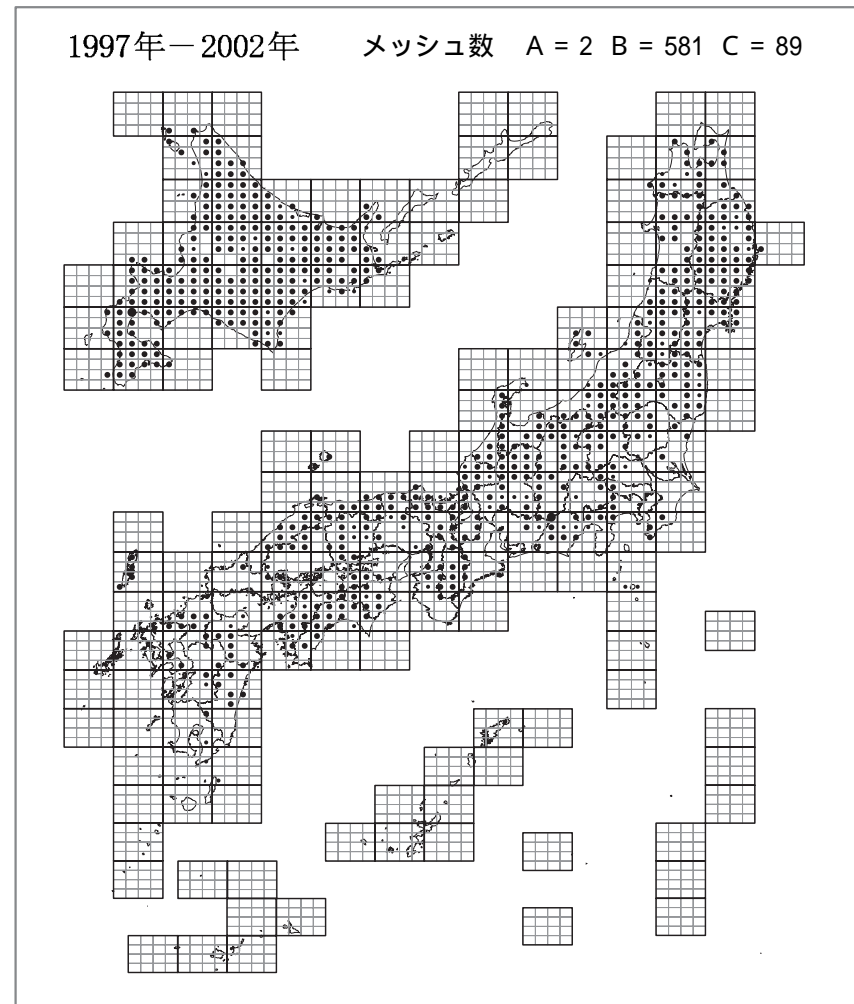
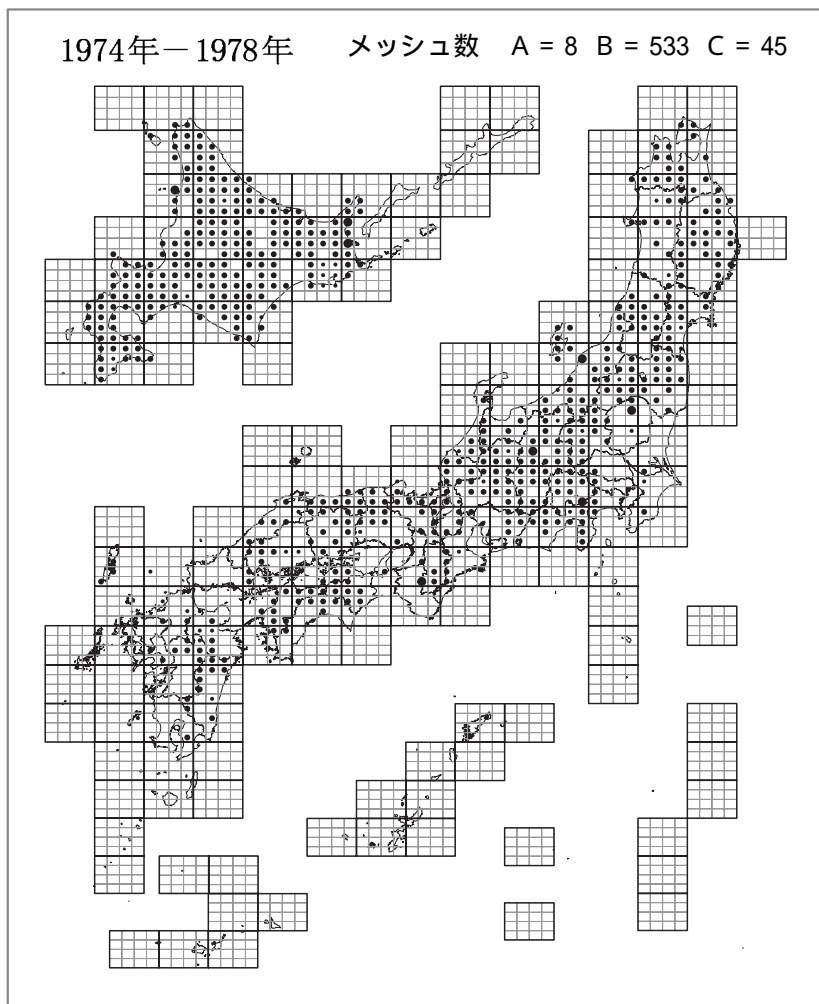
ツツドリ

(分類) カッコウ目カッコウ科 *Cuculus saturatus*

(環境省 RDB 種) -

(分布) 北海道から九州で夏鳥。ロシア、中国南部、東南アジア、オーストラリア北・東部に分布。

(生態) 落葉広葉樹林や針広混交林に、4月頃渡来し、おもにセンダイムシクイなどのムシクイ類に托卵するが、北海道ではウグイスにも托卵する。おもに毛虫(ガの幼虫)などの昆虫を食べる。



ホトトギス

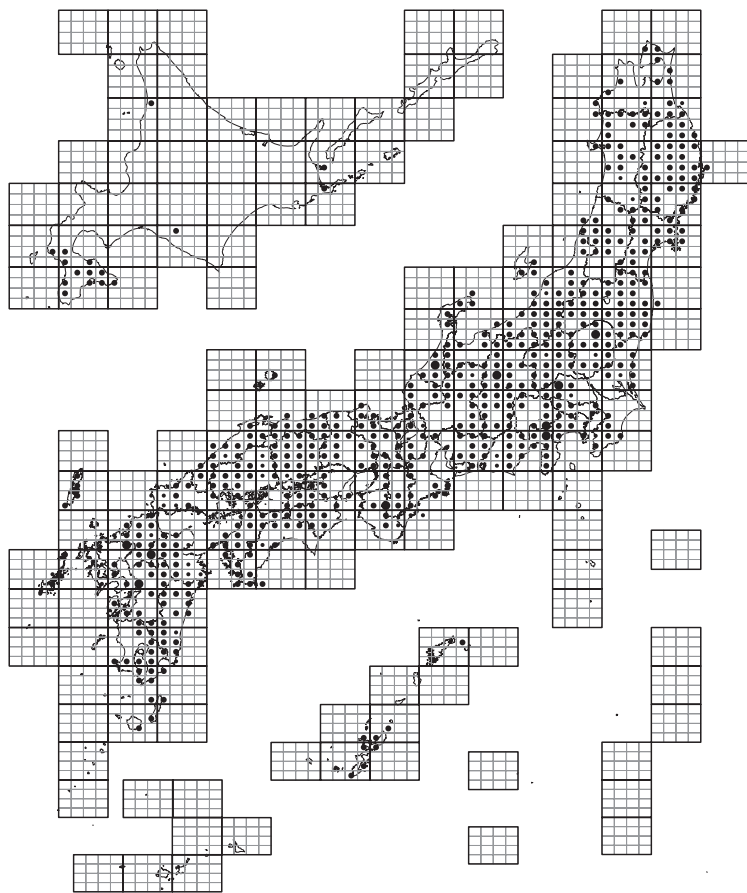
(分類) カッコウ目カッコウ科 *Cuculus poliocephalus*

(環境省 RDB 種) -

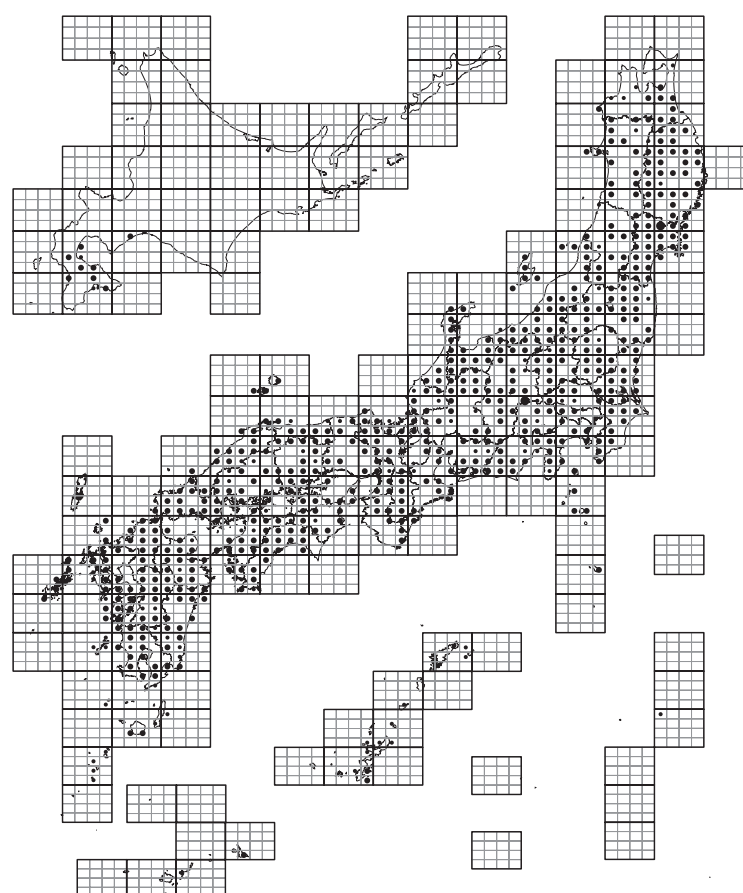
(分布) 北海道南部から沖縄で夏鳥。東南アジアで越冬。ユーラシア南部からマダガスカルにかけて分布。

(生態) 常緑樹林、落葉広葉樹林や針広混交林に、5月頃渡来し、6月頃ウグイスに似た赤茶色の卵をおもにウグイスに托卵する。毛虫（ガの幼虫）などの昆虫を食べるが、社会行動など詳細は明らかではない。

1974年－1978年 メッシュ数 A = 10 B = 525 C = 46



1997年－2002年 メッシュ数 A = 2 B = 530 C = 96



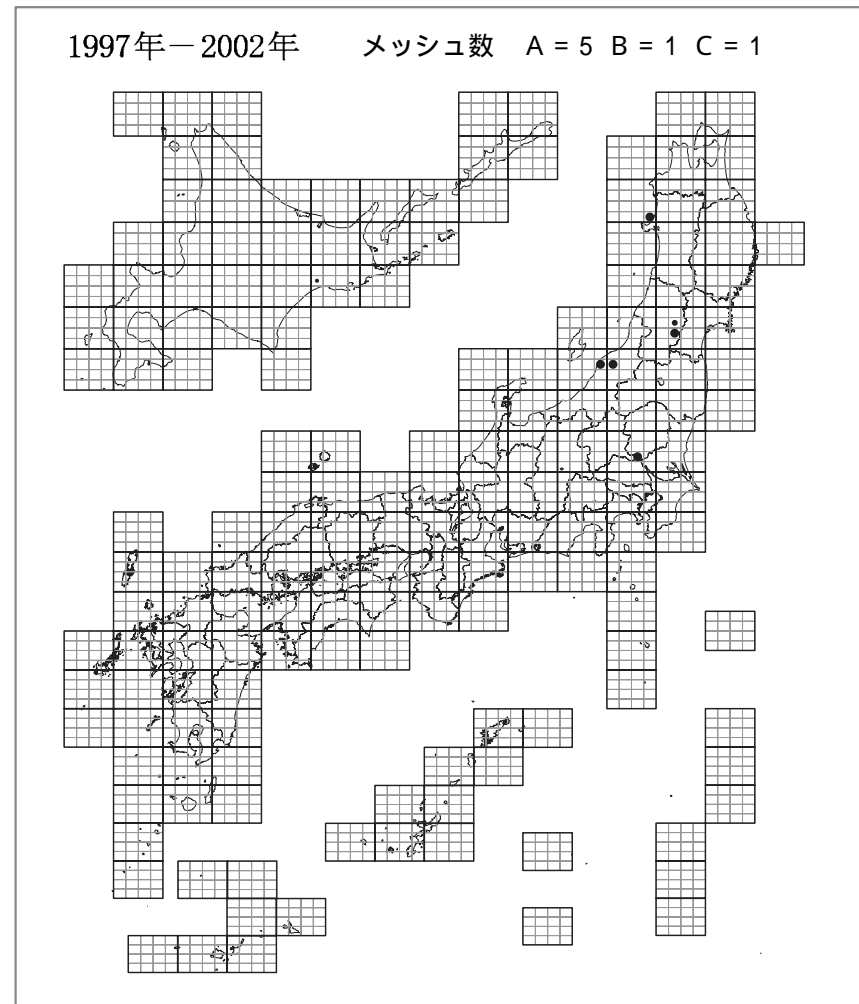
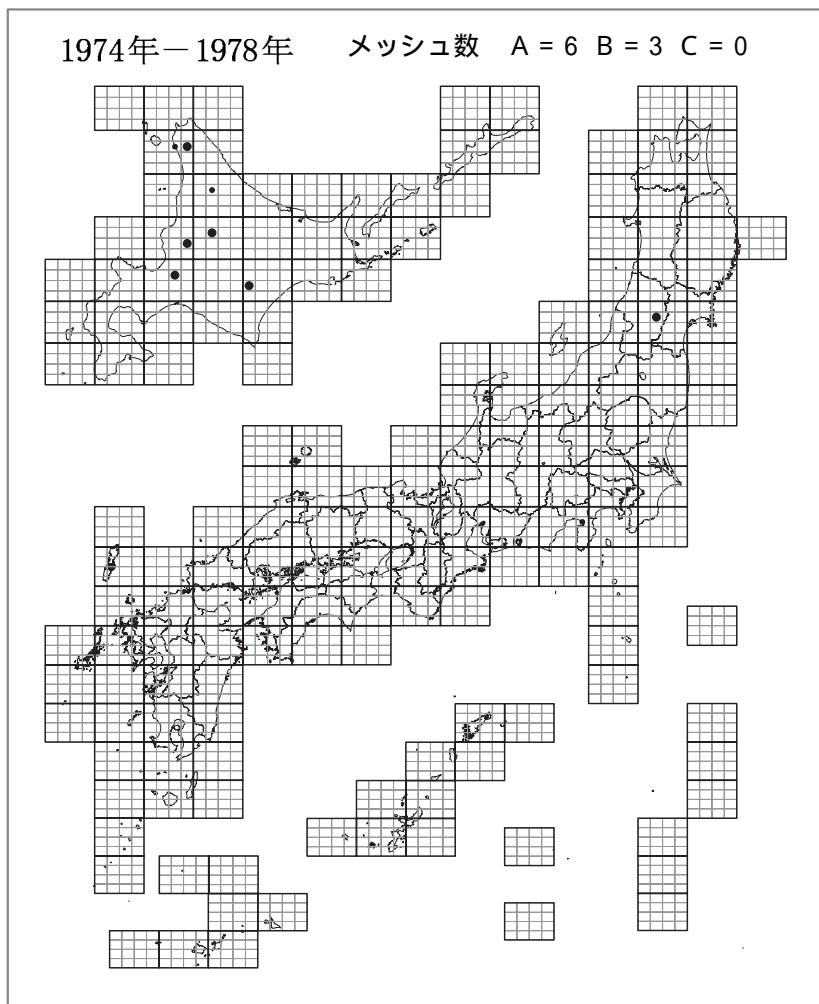
トラフズク

(分類) フクロウ目フクロウ科 *Asio otus*

(環境省 RDB 種) -

(分布) 本州中部以北で局所的に繁殖。以南では冬鳥。ユーラシア、北米の温帯から亜寒帯に分布し、南部で越冬。

(生態) 平地から亜高山の森林にすみ、樹洞やカラスの古巣などを利用し営巣。5月頃から3~7卵を雌が26日前後抱卵し、23日前後で巣立つ。夜行性でおもにネズミ類を捕食し、小鳥や昆虫も食べる。冬期には数十羽に及ぶ集団ねぐらをつくる。



コノハズク

(分類) フクロウ目フクロウ科 *Otus scops*

(環境省RDB種) -

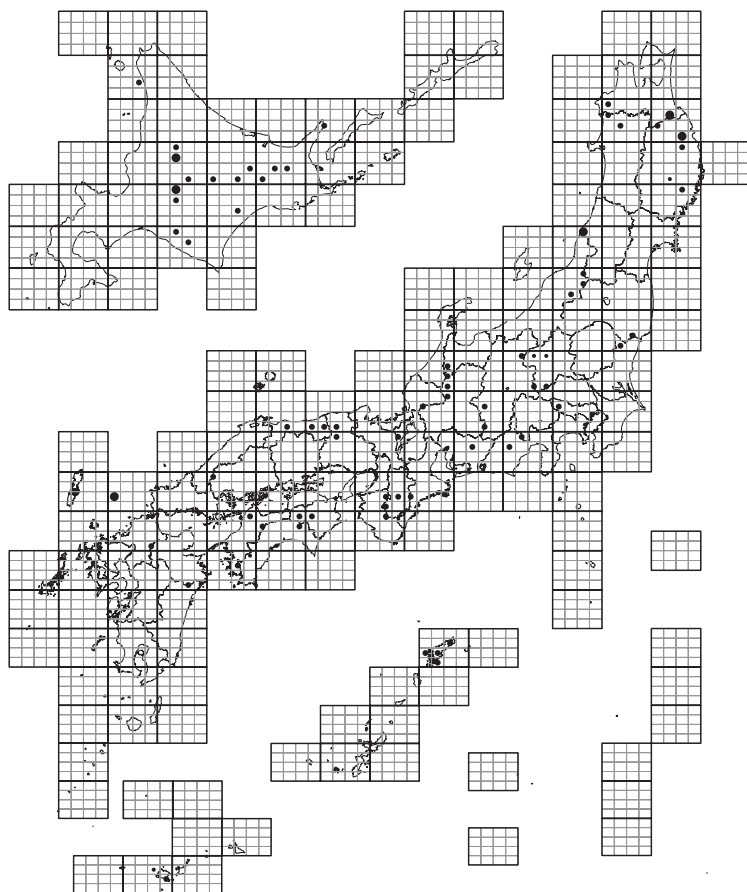
(分布) 九州から北海道で夏鳥。ユーラシアに広く分布し、南部の東南アジアやアフリカで越冬。

(生態) おもに山地の茂った森林内にすみ、樹洞で営巣する。5月頃渡来し、6月頃から4～5卵を24日前後抱卵し、約3週間で巣立つ。

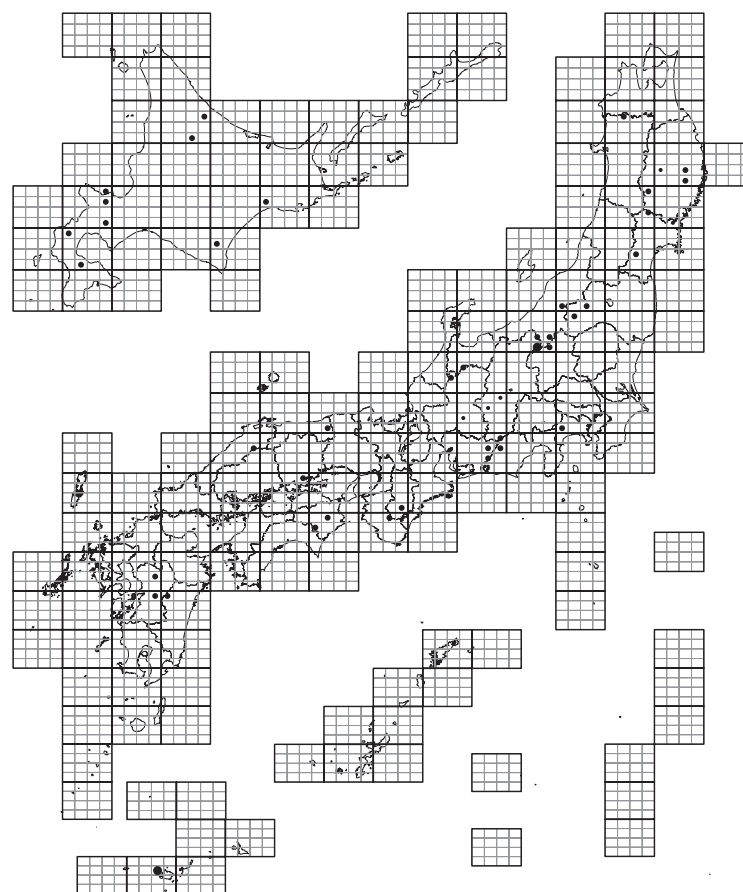
夜行性でおもに昆虫類を捕食する。

(参考事項) 第2回調査時はリュウキュウコノハズクをコノハズクの亜種として分布図に含めているが、第6回調査では別種に分類している。リュウキュウコノハズクについては次ページを参照のこと。

1974年—1978年 メッシュ数 A = 6 B = 64 C = 5



1997年—2002年 メッシュ数 A = 2 B = 38 C = 5



リュウキュウコノハズク

(分類) フクロウ目フクロウ科 *Otus elegans*

(環境省 RDB 種) -

(分布) 南西諸島と大東島で留鳥。分布は限られており、台湾からフィリピンで記録がある。

(生態) よく茂った亜熱帯性常緑樹林にすみ、里から山地まで分布する。4～6月が繁殖期らしく、夜間によく鳴き声が聞かれる。夜行性でおもに昆虫を捕食するが、小鳥や小動物も捕える。

(参考事項) 第2回調査時はリュウキュウコノハズクをコノハズクの亜種として分布図に含めているが、第6回調査では別種に分類している。コノハズクについては前ページを参照のこと。

第2回調査ではコノハズクとして記録しているため、分布図不掲載。

1997年－2002年 メッシュ数 A = 0 B = 7 C = 10

